

事務事業名 雲南市産品販路拡大事業		所属部 産業観光部	所属課 商工振興課
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G 地域産業支援G	課長名 森山 幸雄
	施策名 (33)地域資源を活かした産業の創出	担当者名 藤本 万葉	電話番号 0854-40-1052 (内線) 2443
	目的: 市内の事業所(者) 意図 新分野進出、新商品開発をする。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 5 1 3 業名 項 目 中事業 中事業 0 5 1 0 0 5 業名	産業推進事業
	基本事業名 (101)新商品の販路開拓支援 目的: 新分野進出・新商品開発を考 える市内の事業所(者) 意図 新商品を販売する。		雲南市産品販路拡大事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市の素晴らしい食を紹介するため、集客力のあるイベントでの物販及び観光PRを行ったり、こだわりの食材を取扱う「自然食品こだわりや」の幹部や各店舗店長向けの試食商談会を開催することにより、雲南市で生産される産品の販路拡大を目指す。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ①UNNAN CARAVAN: 大阪市のイタリアンダイニングで雲南市食材を使ったフェアを開催。 ②イオン広島祇園店: 販促イベントを開催。 ③こだわりや: 都内でこだわり商品を扱うスーパーにて販促イベントを開催。 ④梅酒まつり: 大阪市内でスパイスの販促イベントを開催。 ⑤さくらフェア: 木次道の駅での販促イベント。 ⑥ワールドワン: 神戸市の居酒屋にて雲南市食材を使ったフェアを開催。 ⑦販路アドバイザー: 都市圏の飲食店等の販路開拓、人材育成に関するセミナーを開催。	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ①イオン広島祇園店: 祇園店もしくは府中店にてイオンとの連携による販促イベントを開催予定。 ②こだわりや: 新宿・調布店等での販促イベントを開催予定。 ③通販食品商談会: 都内で開催される商談会に、市内事業者数社とともに出席予定。 ④地方銀行フードセレクション: 同上。 ⑤さくらフェア: 3月～4月に、木次道の駅での販促イベントを開催予定。 ⑥ワールドワン: 神戸市の居酒屋にて雲南市食材を使ったフェアを開催。				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 企業訪問による情報収集・支援	回	270	270	270	270
	イ 商談会(フェア)開催による販売促進	件	1	2	6	6
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	・市内商業事業者 ・農商工連携協議会加入者	ア 商工会会員	会員	1,263	1,237	1,242	1,245
		イ 農商工連携協議会加入者	団体	70	73	74	75
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	・首都圏等都市部での雲南市産品の販路先を拡大する。 ・ふるさと納税返礼品を含めたギフト商品の充実・強化を図る。	ア 販路開拓の新規開拓件数	件	0	1	3	5
		イ ふるさと納税返礼品追加件数	件	0	0	20	15
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
報償費: 463 千円(講師謝金・交通費) 旅費: 368 千円(職員交通費) 需用費: 76 千円(消耗品費) 役務費: 260 千円(出展手数料) 委託料: 4,713 千円(販路支援アドバイザー) 合計 5,880 千円	財源内訳	千円		864	5,176	1,650
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				1,650
	一般財源	千円	400	527	704	500
	事業費計(A)	千円	400	1,391	5,880	3,800
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	300	300	500	
	延べ業務時間	千円	1,166	1,174	1,984	
	人件費計(B)	千円	1,566	2,565	7,864	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,566	2,565	7,864	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
新商品を積極的に開発し、首都圏への販路拡大を目指す企業が増えてきている。また、ふるさと納税返礼品に出品される企業が増えてきている。	雲南市には優れた産品が数多くあるが、原料にこだわり、手作りで製造されているため販売単価が高く、一般のスーパー等での販売には適していないものも多い。そのため、こだわり商品を取り扱う店舗を絞り込み、直接売り込む必要がある。	東京等の都心部でのPR活動を行う上でのネックは交通費や出店ブース費用等経費面であることが多く、首都圏への販路拡大を目指す企業から助成を求める意見が出されていた。

事務事業名	雲南市産品販路拡大事業	所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	継続的に事業を実施することにより、雲南市産品の販路拡大につながる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	販路拡大を目指す企業への支援であり、他分野との統合は難しい。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	事業の効率的な実施に向けて発展的な事業展開を考えており、削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		単発な販促活動では成果につながりにくいため、取組みを「粘り強く」「着実」に進めていく必要がある。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>企業自らが出展し、首都圏等での販路拡大活動を行うことは重要な活動であり、今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>今後は、企業グループでの出展への支援を強化し、個社ではなくチームとして都市圏の自然食品スーパーや飲食店等へ売り込むことで、販路の共有・拡大に向けた取組みの強化を図る。</p> <p>ふるさと納税返礼品のさらなる充実・強化を図るため、市内企業を対象としたセミナー・相談会・個別訪問を積極的に実施し、雲南市への寄付額の増と企業の売上げ増を目指す。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			